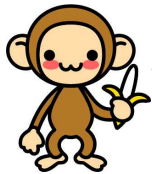


H18.2.20

NST NEWS

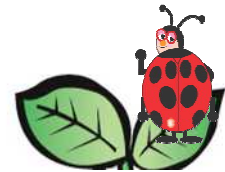
第4号



NSTで対応している
食事ってどんなものだろう？

NST対応食とはどんなもの？

NST回診を始めて9ヶ月が経ちました。NSTで対応している食事が実際どんなものなのか、イマイチよくわからない方もいるかもしれません。そこで今回はNSTで対応しているお食事の一例をご紹介します。



栄養補助食

【エンジョイゼリー】

特徴

- ・ 高エネルギー、高たんぱく質
- ・ ゼラチン使用のため、体温で溶け、飲み込みやすい
- ・ 1パック(220g)で300kcalのエネルギー補給が可能
(エネルギー:300kcal たん白質:11.2g / 1パック当たり)
- ・ 10種類の味が揃っている
(グリーン・梅・柚子・抹茶・小豆・珈琲・苺・チョコレート・ぶどう・黒胡麻)

エンジョイゼリー 1本
【ぶどう味】

エンジョイゼリー
1/2本
【ぶどう味】



NST対応患者様、17名中10名使用

【メイバランス Mini】

特徴

- ・ 少量で高エネルギー
- ・ 1本(125ml)で200kcalのエネルギー補給が可能
(エネルギー:200kcal たん白質:7.5g / 1本当たり)
- ・ 3種類の味が揃っている
(コーヒー・キャラメル・ヨーグルト)
- ・ 食物繊維、微量元素 配合(食物繊維:2.5g 亜鉛:7.5mg / 1本当たり)

メイバランス Mini
各種1本
【コーヒー・キャラメル・ヨーグルト】



NST対応患者様、17名中4名使用

実際の対応例

A氏 (80歳代, 女性)

病名: 認知症、摂食障害、老年期うつ病、仙骨部褥瘡

入院: H17年9月

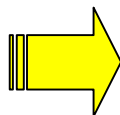
依頼理由: 胃瘻。嚥下障害なく、水分摂取可能だが、拒食する。(H17.9.21回診開始)

依頼前食種: 経管 1200kcal

現在食種: 軟菜米飯食 米小盛 副食 1/2 (+) 昼夕エンジョイゼリー

経過: NST回診開始により、経管 800kcal + 昼のみゼリー食。半月後、昼食の食種を3分菜とし、1食ずつ徐々に増やし、現在では3食経口食で軟菜米飯食となる。1食通常の食事量では威圧感がある為、副食を分量とし、補食としてエンジョイゼリーを昼夕 1/2 ずつ付ける。経過良好。体重は 34.0kg から 37.0kg に増加した。

【昼食例】 通常〔軟菜米飯米小盛〕



NST対応



B氏 (90歳代, 男性)

病名: 多発性脳梗塞、老人性認知症

入院: H17年3月

依頼理由: 熱発を繰り返している、平均喫食率5割以下。(H17.11.30回診開始)

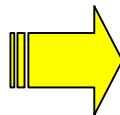
依頼前食種: ゼリー食

現在食種: 心5分菜 全粥 朝パン

(+) 朝昼: Mパランス Mini 各1本 夕: Mパランス Mini 1本, 牛乳1本

経過: 喫食率悪く、依頼前は流動食やゼリー食を試していたが、どの食種も安定せずNST依頼となる。嗜好を調査し、牛乳や栄養補助食品を付加していた。徐々に喫食率アップし、安定してきた。体重は 33.9kg から 41.5kg に増加した。

【昼食例】 通常〔心5分菜全粥〕



NST対応



NSTでは、栄養状態が改善されるように、患者様の嗜好に合わせ、様々な方法で栄養管理を行っています。それにより、体重増加やADLアップにもつながっています。

栄養状態が悪いのではないかと、思ったら是非NSTに相談してみてください。

協立温泉病院・栄養管理委員会

